

第2回会津若松市環境大賞受賞者

受賞者	区分	個人／団体／事業所名	功績内容
環境大賞	団体	石堂町町内会	長年に渡り地区内の清掃作業や、リサイクル回収容器置き場の管理、資源物回収作業など環境美化とリサイクル活動を行ってきた。この間、ごみステーション分別指導、高齢者宅などからの資源物運搬などの環境ボランティア制度の設置、町内の衛生係、ボランティア、町内環境美化協力者による環境推進事業活動の実施。さらに、環境に関する取り組みの実施結果の問題点などを話し合う環境推進会議の開催、ポイ捨て、犬糞、自転車の放置などの迷惑行為の禁止ポスター作成掲示（11箇所）など幅広く活躍し、他の団体の模範となるものである。
環境賞 (循環部門)	該当なし	該当なし	該当なし
環境賞 (美化部門)	個人	馬場 郁雄	平成4年から、自宅前の側溝に設置してあるごみ止枠の清掃（月3回）と回収したごみ（ごみ袋にして年間約36袋）の分別と排出活動をしている。側溝の草刈り（年3回）の活動、側溝を定期的に巡回（週1回）し、ごみ拾いの活動を行っている。さらに、町内2箇所におけるごみの出し方の指導などを行うなど、個人として今まで町内の美化に貢献してきた功績は大きなものがある。
環境賞 (環境教育部門)	該当なし	該当なし	該当なし
環境賞 (自然環境部門)	団体	緑町旧湯川河川愛護会	昭和63年から、旧湯川を水質汚濁から守り、清流復活のために河川の清掃活動や河川敷・堤防（約3万平米）の除草作業活動を実施してきた。さらに、人々が川に親しめるようにと河川公園の花壇（約580平米）への植栽などの活動も行ってきた。これらの自然保護活動の功績はきわめて大きなものがある。
環境賞 (事業部門)	事業所	会津オリンパス（株）	ISO14001を取得した1998年からゼロエミッションへの取り組みを開始し、62種類の分別によるリサイクル化の他に、工場からでる産業廃棄物の削減に取り組み、オリンパス光学工業のゼロエミッション到達基準である「中間処理後の埋立率を総排出量の1%以下」を達成した。これらの取り組みは事業活動における環境負荷の低減に大きな功績が認められる。